

津波対策

一部国土交通省ホームページより引用
一部気象庁ホームページより引用

【津波とは】

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するのが津波です。



【津波は恐ろしいの?】

■「津波の被害」「津波に対して危険な地域」を紹介します。
(国土交通省ホームページより引用)

https://www.mlit.go.jp/river/kaigan/main/kaigandukuri/tsunambousai/02/index2_1.htm#tsunami21



【津波を防ぐための取り組み】

■津波を防ぐための施設や取り組みを紹介します。
(国土交通省ホームページより引用)

https://www.mlit.go.jp/river/kaigan/main/kaigandukuri/tsunambousai/04/index4_1.htm#tsunami41



木更津市における津波浸水予測結果

津波浸水予測区域の想定

千葉県では、平成30年11月に「津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)」第8条第1項に基づく、「最大クラスの津波」が沿岸に到達した場合の浸水の区域(浸水域)及び水深(浸水深)を設定し、津波浸水想定図を作成しました。木更津市の津波による浸水予測区域については、P44の津波浸水想定図を計画の前提条件としています。

(1) 地震・津波の想定

最大クラスの津波は、過去に千葉県沿岸に津波被害をもたらした地震や将来最大クラスの津波をもたらすと想定される次の5つの地震に基づき設定しています。

- ①延宝房総沖地震<1677年>
- ②元禄関東地震<1703年>
- ③東北地方太平洋沖地震<2011年>
- ④房総半島南東沖地震<想定>
- ⑤相模トラフ沿いの最大クラスの地震<想定>

※いずれも中央防災会議モデル

(2) 津波浸水予測区域

木更津市における津波浸水予測結果は次のとおりです。

浸水面積	1,933ヘクタール
最大津波水位	4.2メートル(東京湾平均海面からの高さ)
津波到達時間	123分(地震発生から津波水位が最大になるまでの時間)
影響開始時間	1分未満(海岸線から30メートル沖合の地点において潮位面から±20cmの海面(水位)変動が生じるまでの時間)

※平成24年に内閣府により公表された南海トラフ巨大地震における木更津市への津波到達時間は80分と想定されています。

津波から命を守るためには、「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」…すぐに避難!!
「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」…すぐに避難!!

津波に関する情報

津波からの避難

ハザードマップの津波浸水想定区域内にいる人は危険を感じたら、市からの避難情報を待たずに避難してください!

地震の揺れを感じたら!

- ・強い地震のとき
- ・弱くても長時間の地震のとき

海岸付近にいた場合すぐに海岸から離れて!

- ・堤防より内陸側へ
- ・ただちに移動

正しい情報の入手

「津波の心配なし」が確認できない限り避難!

安全な場所へ

- ・津波到達まで時間がある場合は、浸水想定区域外の避難所などへ。
- ・時間がない場合は、津波避難ビルや近くの高いところへ。

津波注意報・津波警報がでたら!

ただちに避難!

《津波警報・注意報と避難のポイント》

- ①震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来間に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ②津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ③津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ④津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

津波に関する情報は気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>



津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分(一部の地震※については約2分)を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

※日本近海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の良い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

(※気象庁ホームページを参照)

種類	発表される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表(予想される津波の高さ区分)	巨大地震の場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	ハザードマップの津波浸水想定区域内の住民や沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)			
	5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難して下さい!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

※大津波警報を「特別警報」に位置づけています。

※津波警報等の発表時には、各区分の「高い方」の値を、予想される津波の高さとして発表します。

※高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。

※「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。津波が陸上で崖などを駆け上った高さは、海上の津波の高さの何倍にも達することがあります。

★「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちにより高い場所へ避難しましょう!

避難時の注意事項

海底で地震が起きると、海底の地形が急に変わり、海水が大きく押し上げられたり沈み込んだりするため、津波が起きることがあります。

この波の高さは水深が浅くなるにつれて増し、湾内に入るとさらに高くなります。

ときには数十mにもなり、大きな被害をもたらすこともありますので早めの避難が不可欠です。

なお、津波は日本近海の地震のみでなく、遠方の国で発生した地震や火山島の噴火によっても引き起こされます。



ラジオ、テレビ、防災行政無線、インターネットなどから新しい情報を!

津波注意報でも、海水浴や磯釣りには危険!ただちに高いところへ避難!

津波はくりかえしやってくる。警報、注意報が解除されるまで気をゆるめない!

地震を感じなくても、津波注意報・警報が発令されたら、ただちに高台に避難!船は湾外へ退避!

強い地震、また弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れの場合は、ただちに安全な場所へ避難!船は湾外へ退避!

湾外退避できない小型船舶は高いところに引き上げて固縛を!ただし時間に余裕があるときに!

津波予報区

気象庁は、全国を66区域に分けた津波予報区に対して、津波警報・注意報、津波情報、津波予報を発表しています。

木更津市の津波予報区は、東京湾内湾です。

東京湾内湾…千葉県(富津岬西端以北の東京湾沿岸に限る。)

東京都(特別区に限る。)、神奈川県(観音崎東端以北の東京湾沿岸に限る。)

詳細は、気象庁ホームページ「津波予報区について」をご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/t-yohokuinfo.html>

